



タブレットを活用した水路の簡易診断について紹介します。

(1/2)

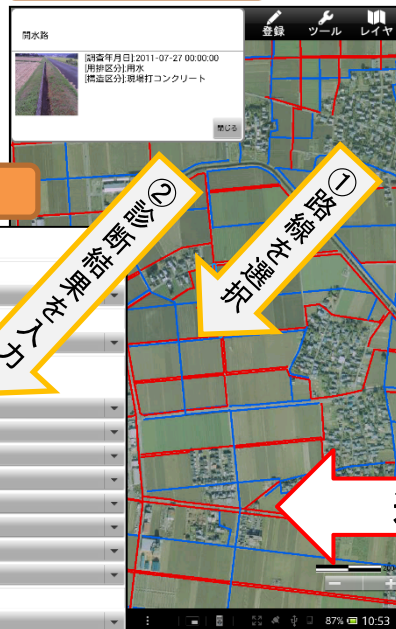
今回紹介する団体：福井県、水土里ネットふくい

取組概要

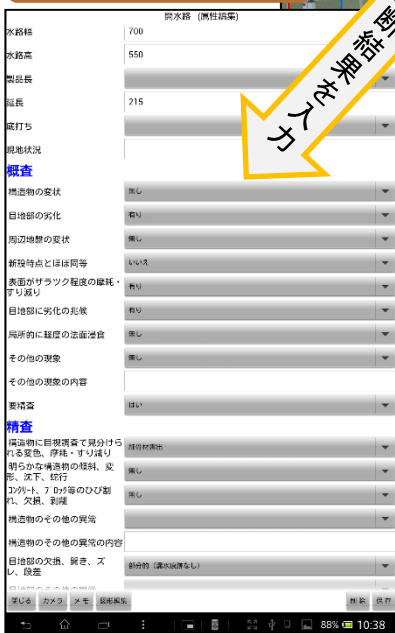
内容： 水土里情報で整備した農業水利施設データを使用して、現地で末端水利施設の機能診断を行い、ストックマネジメント等に活用する。

- 経緯： ① 従来、末端水利施設の機能診断は紙ベースで行なっており、野帳の整理、取り纏めに苦慮していた。また、診断結果の直感的・視覚的な把握が困難な状態にあった。
- ② 診断結果の蓄積と現地確認の効率化のため、タブレットの利用を検討。
- ③ 水土里情報の農業水利施設データをタブレットに取り込み、施設の基礎データとして利用。
- ④ 診断結果を水土里情報システムに反映する仕組みを構築。

タブレット画面



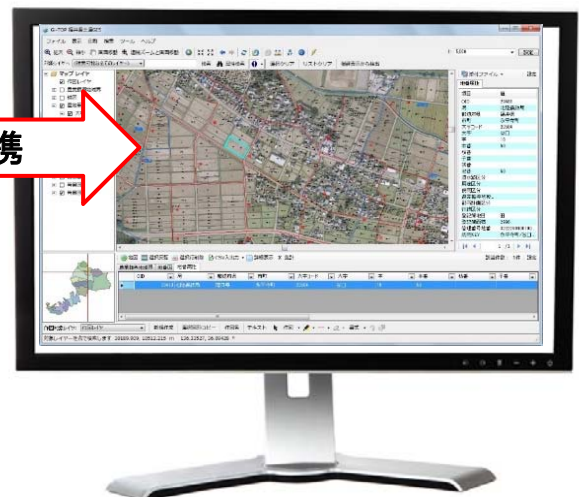
入力画面



入力データ登録②
現地確認①



水土里情報システム



連携

期待される効果

- ① タブレットのみで、現地確認が可能。
- ② GPS機能により、自位置及び対象となる施設を容易に把握。
- ③ 施設の更新を水土里情報と連携することにより、現地との乖離を抑制。
- ④ 診断結果は、水土里情報システム上で閲覧し、視覚的な把握が可能。

診断結果での施設の色分け表示例



今後の活用予定

施設の台帳化に取り組み、関係機関との連携を行う。

GISシステムのバージョン情報

GISアプリ : ArcGIS Engine + 県独自GISアプリ(スタンドアロン運用)

タブレットアプリ : 水土里Egg

■お問い合わせ先

福井県土地改良事業団体連合会 事業部土地改良課

0776-23-7775(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝)

03-6744-2201(直通)